

富士吉田

市婦連だより

発行

富士吉田市連合婦人会



会長 渡辺 富江

あいさつ

富士吉田市連合婦人会は、今年で七十周年という歴史を市政と共に歩んできました。大きな節目である本年、四月より伝統ある富士吉田市連合婦人会の会長を任命されました。先輩方々が築いてくださいました婦人会の長として重責を感じております。

本年、新型コロナウイルス感染拡大の中、多くの方々が不便や不安を感じ、十分活動できない状況があったと思います。このような中、細心の注意を払いながら活動してきたつもりであります。

山梨県内においても当市の婦人会は、リーダー的存在であることは言うまでもありません。富士吉田市連合婦人会は、四名の副会長三地区の会長及び若い世代

の方々が役員となって活躍していただいております。女性が活躍できる地域づくり、「次世代につながる持続可能な女性の会・婦人会」の活動である赤十字奉仕団活動、青少年育成活動、消費生活・交通安全母の会の活動、環境問題への活動、自治会と連携しての地域づくり等多忙の中ではありますが、婦人会活動を行っております。私としては、行政との関わりの中で富士吉田市のことをより多く知り、社会勉強の場となつて人生の貴重な宝となりました。

今年度最大のイベントであった第七十一回富士吉田市制祭、歩行者天国は開催されませんでした。CATV富士五湖」で放映されたオンライン夏祭りは実施されました。それには婦人会三十二名が出演し、「おもてなし富士吉田」の豆しぼりを身に着け、一致団結して楽しく踊ることができました。三十二名全員の顔には、微笑と満足した表情が溢れておりました。

令和三年度の限られた婦人会行事の中、市民皆様のご支援とご理解、更に行政からのご指導の下、活動ができました。感謝申し上げます。市民の皆様には、引き続き婦人会に対してご支援ご指導を心よりお願い申し上げます。会長あいさつとしたいと思います。

第六十九回全国大会 in 長崎



紅葉の美しい十一月一日・二日、第六十九回全国地域婦人団体研究大会に、会員七百余名余りが参加して、「異国の文化が息づく歴史ある街ながさき」を考えよう平和で心豊かなくらしを」をテーマとし、長崎ブリックホールにて開催されました。

初日は「教育」「環境」「組織」の三分科会と「平和教育」「長崎の歴史」のフィールドワークグループに分かれ、富士吉田地区は「平和教育」に参加しました。現地案内人の方から、平和公園は悲慘な戦争を二度と繰り返さないという誓いのもと、世界平和への願いを込めて造られた公園であること、平和記念像や平和の泉についてのことなどの説明を受け爆心地公園を通じて、原爆資料館を見学しました。

原爆資料館では、被爆時の惨状や原爆が投下されるに至った経過、被爆から現在までの長崎の様子、核兵器開発の歴史、核兵器のない平和への願いまでが分かりやすく展示されていきました。平和であることの大切さを語り継ぐ必要性を改めて痛感しました。

二日目は「龍踊り」のオープニングセレモニーに始まり「変わってしまった女」と「変わりたくない男」の記念講演で、道具の機械化と自動化が男女の筋肉量の差を縮め、女性の意識を変えたと話されました。「次期七十回大会は東京で楽しく開催致しましょう」と櫻井会長の力強い絆の宣言で、全国地域婦人団体研究大会が閉会されました。

今大会に参加させていただき、男性と女性、女性と男性、組織と組織がうまく連携しあい協働して社会づくりをすることの大切さを学ぶ機会となりました。



富士吉田市婦連だより 第24号発刊に寄せて



富士吉田市長
堀内 茂

富士吉田市長あいさつ

「第24号富士吉田市婦連だより」が発刊されますことに心からお祝い申し上げます。

富士吉田市連合婦人会の皆様には、平素より市政に対し、温かいご支援と多大なるご協力を賜っております。地域に根差した女性の集団として、心の通い合う地域社会づくりのために、交通安全母の会、日赤奉仕団としても皆様にはご活動いただいております、その多方面にわたるご活躍に対し、改めてまして敬意と感謝の意を申し上げます次第であります。

令和三年度より渡辺富江新会長のもと、新たな体制で歩みを進めておられますが、依然として続くコロナ禍の中、イベントの縮小や中止が相次ぐなど、日頃の皆様の活動の場も様々に制限されていることと存じます。

このコロナによっては、経済・雇用の不

安定な状況が予期せず続いたことで、男性よりも非正規労働の割合が高い女性の方が多く失業し、女性の貧困化が社会問題となるなど、男女共同参画が進展したとはいえず、まだまだ立場の弱い女性が多い世の中であることが顕在化しており、その弱き声を代弁する貴会の役割は、今後ますます重要となってまいります。

こうした女性を含め、まずは市民の皆様にも元気になっていただこうと、本市では昨年末に市民一人あたり壹万円の地域振興券「七福来券第三弾」を発送したところですが、互いに寄り添い助け合いながら、誰もが安心して暮らせるまちを目指し、今後とも貴会からのご助言を賜りながら各種施策に取り組んでまいりますので、どうか変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、富士吉田市連合婦人会の今後ますますのご発展と、会員各位のなご一層のご活躍を心からお祈り申し上げます。お祝いの言葉に代えさせていただきます。



富士吉田市議会議長
小俣 光吉

富士吉田市議会議長 あいさつ

「富士吉田市婦連だより」の発刊、誠にめでたくございます。

富士吉田市連合婦人会の皆様におかれましては、平素より市政全般並びに市議会の活動に対し、温かいご理解と多大なるご協力を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

富士吉田市連合婦人会の皆様には、慈愛の精神や奉仕の精神に基づき、女性としての立場、あるいは家庭を持つ主婦の立場から、文化活動・ボランティア活動など、あらゆる面で活躍されておりますことに心から敬意を表すものであります。

令和の時代となり、社会の価値観やライフスタイル、さらには、国籍や人種・性別など、様々な分野において、多様性を尊重することに理解が深まっています。

多様性を尊重する今日において、地域の連帯を深め、健全な地域コミュニティを形成するためには、皆様方がこれまで培ってこられた活動や経験が重要な役割を果たすものと大きな期待を寄せております。

本市議会といたしましても、明るく住み良いまちづくりのために、皆様方と共に尽力して参ります。

結びに、富士吉田市連合婦人会が渡辺会長のものと、ますますご活躍されることを心から祈念申し上げます。



社会教育指導者研修会

まだ梅雨

明け宣言も

発表されま

せんでした

が、暑い日

の七月十四

日、第一回

研修会が県

立青少年セ

ンターにて、山梨学院大学副学長 青山貴

子氏を講師に迎え、「身近なつながりから

包摂的社会づくり」と題した講演を受講し

ました。普段データや数値など余り考える

事もなく、毎日を通してありますが、広報

「ふじよしだ」の人口や世帯数の減少を見

て以前から比べると減ってきていると思う

程度で過ごしています。また、昔と比べ

女性も第一線で働き、家にいないことが多

く、家庭内においても食事を家族と一緒に

取ることも難しくなっています。ましてや

昨今コロナ禍で外出もままならず、人と人

との接触をさけるなど人との交わりが希薄

になっていきます。

このように感じている中、研修会に参加できて色々な事を考えさせられる場所を与えてもらいました。

講師の先生から「何事も小さな一歩から何か出来る事」とお話が有り、今後の活動に生かして行こうと思つた一日でした。貴重な一日をもらえたことに感謝です。



令和三年度山梨県定期総会



令和三年七月二十九日に笛吹市スコレーセンター集会室にて開催されました。

コロナ禍ではありましたが、来賓も多く山梨県知事の長崎幸太郎様はじめ県議会議長の桜本広樹様、県教育庁生涯学習課課長鎌田秀一様から祝辞を頂きました。

議事に入ってから、県連の渡辺富江副会長が選出され議事報告事業計画及び予算案も承認され無事会議が終了しました。

第二部は「エシカル消費と地球温暖化」と題し、昭和町在住の本田万壽男先生に講演して頂きました。「エシカル消費」とはより良い社会に向けた、人や社会、環境に配慮した消費行動の事でこのキーワードを意識しながら日々を過ごしてみると世界の未来が変わるそうです。例えば認証ラベルのある商品を選ぶ、エコ商品を選ぶなど「エシカル消費」とは、何を買つか考えるときの一つの尺度だそうです。

世界の未来を変えるのは私たちの日々の消費だという事でした。

歯舞昆布販売

富士吉田市連合婦人会事業の一環として、歯舞昆布の販売を長年に渡り実施しております。市民の皆様には、多大なるご協力をいただき大変うれしく思っています。本年も昆布、とろろ昆布、昆布しょう油と大好評をもらい、県内でも最高の売上をいたしました。

また、この昆布の販売は、「北方領土返還運動啓発」のため実施しているものです。貝殻島、歯舞島周辺の豊かな漁場で収穫し他に類をみないやわらかな昆布です。各種ビタミン、ミネラル、ヨードなど健康的であり食生活になくってはならない栄養素を含んだ自然食品です。まだお使いになっていない方も食べていただけたら、そのおいしさにご満足してもらえと思っています。年間を通して販売しておりますので、お近くの婦人会員にお尋ね下さい。

【価格】
◎昆布一袋 880円 ◎とろろ昆布 270円
◎昆布しょう油 570円

※ただし、しょう油は、2月、6月、10月に限ります。

※令和3年4月～12月迄の売上個数は、昆布7500袋、とろろ昆布250袋、昆布しょう油396本でした。



一円玉募金

本栖湖の光岸寺の境内にあります無縁仏千明地蔵菩薩の建立の為に始めました。

この一円玉募金活動ですが、女性の立場から教育、福祉、救済事業などに役立てながら今日に至っております。一円玉募金の協力に何うと「そろそろ来る頃だと思いいいおいたよ」と言いながら渡して下さる善意ある方々に心を打たれました。

皆様方よりいただきました一円玉募金ですが、下記ご報告のように配分を行いました。ご協力ありがとうございました。



皆様の善意を市に届けました。

◎1円玉募金のご報告

・下吉田地区	121,936円	・上吉田地区	65,598円
・大明見地区	50,000円	・市連	5,989円
		合 計	243,523円

◎配分内訳

・市社協議会	100,000円
・県婦連（県社協、県婦連備蓄等）	50,000円
・赤い羽根募金	35,000円
・8月台風9号の給付（日本赤十字）	30,000円
・市連災害備蓄金	28,523円

令和三年度役員

会長	渡辺 富江
副会長	穴水 ひろ子
理事	山田 伸子
理事	渡辺 あけみ
理事	龍口 一枝
理事	加々見 泰子
理事	小佐野 泰子
理事	（上吉田地区会長）
理事	（大明見地区会長）
理事	渡辺 金子
理事	渡辺 照美
理事	渡辺 春美
理事	渡辺 金子
監事	渡辺 金子
顧問	民謡舞踊指導

市民夏まつり

世界中にコロナウィルスが蔓延し、日本でもコロナ感染者数、死亡数が毎日発表され、数々の行事が中止になる中、私達が最初にとり組んだのが「おうちで夏まつり」でした。例年ですと、本町通りを揃いの浴衣で賑やかに踊る婦人会の一大イベントなのですが、一昨年は雨の為、そして昨年はコロナ禍の為に中止と残念な思いをしておりました。

ところが今年は、市の関係者の方々のご努力のおかげで舞台での踊りを収録したビデオでの参加ができることとなりました。

舞台という限られた場所で五分間の踊り(富士吉田音頭と富士五湖音頭を短く組み合わせた曲)を踊るといって初めてだらけの練習が始まりました。コロナ対策の検温、消毒をし

ながら各地域ごとの練習、そして数回の総練習を頑張った。不安と緊張から始まり回を重ねるごとに自信に満ちた踊りとなっていく姿にみなさんの意気込みを感じ



じ、感激しておりました。

そして収録当日、揃いの浴衣に朱い帯の婦人会員が一糸乱れず踊っている様は、すばらしい踊りだったと先輩の方々からの嬉しいお声をたくさん頂きました。関係者の方々の熱意で、伝統の夏まつりに参加できたことに感謝申し上げます。

ただ、今回はコロナ禍で限られた人数のみの参加となったことは残念でした。来年こそは例年通り全員参加の賑やかな夏まつりが盛大に実施されることを心より願っております

食品表示セミナー

九月に消費者庁請負事業で行われる予定でしたが、コロナ感染症が猛威を振るい直前に延期となり十二月八日山中湖公民館にてセミナーが開催されました。

食品の表示と食品添加物について学びました。加工食品表示のお話は、加工食品の場合は「産地名」又は「製造地」が表示されており、例えばチョコレートの原材料が「B国」のものであってもA国で製造されていれば「A国製造」の表示名となります。また、加工食品の原材料の産地表示は輸入品を除いて全ての加工食品に義務付けられました。食品添加物は多様な種類や効果が存在し見やすさを考慮して表示されています。食べても安全な物であると話されておりました。

健康は食品からです。これを機に食品表示に目を向けましょう。

親子巣箱づくり教室

初冬の訪れ

を感じる十一月

二十七日(土)

恩賜林庭園内

キボキボに「お

はようございま

す」と元氣一杯

の親子七組の皆

さんが来場して

くださいまし

た。検温、手指

消毒実施後、



各々距離を確保しながら作業台に着席しました。高村県連会長の挨拶に始まり、県生涯学習課よりお二人の方、巣箱づくりを指導してくださる方々の自己紹介があり、いよいよ巣箱づくりの開始です。

早速、子ども達は小さな手に鋸を握り、作業台に準備されている板の線に沿って鋸を引き始めました。線からはみ出しそうになると、親御さんが手を添えたり、押さえたり、ドリルで穴をあけたり、一時間もする頃には立派な巣箱が完成しました。

親子で力を合わせる姿が何とも微笑ましく、宝物のように巣箱を抱きかかえる子どもたちがいました。その満足感溢れた笑顔を見ると、たくさんさんの鳥さんが来てくれることを願いました。

子ども達と楽しく過ごさせていただきありがとうございました。

富士山ハザードマップ説明会

富士山噴火を正しく知り、正しくおそれ、備えにつなげるための説明会を、五月二十二日(土)、ふじさんホールに於いて、午後七時から山梨県富士山科学研究所研究員と山梨県防災局危機管理課火山防災対策室担当者が講師となり①富士山ハザードマップ(改訂版)②富士山噴火総合対策、③富士山噴火による溶岩流シミュレーション動画など、詳しく説明してくださりました。

今回の改定により、想定される噴火の範囲が広がり、溶岩流が市街地に到達する時間もこれまでよりも早まる見通しであるなど説明がありました。更に、今回の改訂版ハザードマップを正しく知ることの大切さ、生命を守るためにも常日頃における備えの大切さ、更に情報収集の大切さも痛感しました。

本市は、富士山と共に生活していることもあり、噴火のリスクは常日頃より考えていかなければならないと思います。幸いにも婦人会員は赤十字奉仕団員として災害救護訓練を毎年実施しております。富士吉田市も今年より、三年かけて全世帯に防災ラジオを設置予定とのこと

です。
「災害は忘れたころにやってくる」と常に油断することなく、災害を未然に防ぐよう心がけていきたいと思います。

災害救護訓練

十月十三日(水)の雨の降る肌寒い日でしたが、大月市民総合体育館にて日本赤十字奉仕団員災害救護訓練に参加してきました。

訓練内容は応急手当と炊き出し等でした。コロナ禍の中、二グループに分かれ、パンティーストッキングを使用しての頭への応急手当、炊き出し等は動画視聴になりました。災害時に頭の怪我をした時に包帯や応急処置道具がない場合に、各家庭にあるパンティーストッキングが伸縮性があつて、包帯の代替えで使用できることを学びました。



法、ウィズコロナの時代で災害用トイレも販売していますが、45ℓのゴミ袋一枚を使用して簡易トイレの作成の仕方などを動画で学び、日頃からいつ起こるか分からない災害に備え、対策することが大事だと感じました。

献血ボランティア

六月十五日(火)に、赤十字奉仕団員として、献血のボランティアで来て下さった方の案内と献血をしてくれた方への粗品を渡すお手伝いをしてきました。

コロナ禍での活動なので、ソーシャルディスタンスをとった椅子の並べ方やどうしても勉強になりました。市役所の中庭にて開催されたので、仕事の都合をつけて来てくれた職員の方や用事を済ませ帰りに寄ってくれた方、ご自身の健康チェックを兼ねて定期的に来られていの方、世代問わず本当に色々な方々が献血に協力しているのだと実感しました。

コロナ禍で献血される方が減少していることを知り、今回は婦人会活動でのお手伝いでしたが、血液を検査してもらい元気であることの意識を高めるきっかけにもなり、自分の血液が誰かの命を救えるのであれば、次の機会には是非協力したいと思いました。



シートベルト着用調査

婦人会活動で、毎月十日の朝、どのような天候の中でもプラカードを掲げながら着用を呼びかけます。

交通量が多い上にスピードも出ている交差点で、交通安全シートベルト着用の調査を市内六カ所で行っています。



車の台数も多くなり、シートベルト着用は義務づけられているはずですが、何台かはシートベルト着用をしていない方がいます。とても残念で心苦しく思います。そして、運転中携帯電話も使用している方が思ったより多くいます。

シートベルト着用する、しないは命に関わってきます。「大切な命を守るために」とても大事なことだと思います。これから、シートベルト着用を呼びかけ不着用者ゼロを目指して月に一度でも活動していくことが大切です、地域と運転者のためにも交差点に立ち続ける活動をして行きます。

併せて、お忙しい中巡回をされているおまわりさんに立ち寄っていただき感謝しています。

富士山環境美化クリーン作戦

七月十日、富士山清掃に参加しました。天気は快晴、気分好調、富士で育ちながらも初めての富士山にワクワクしながら五合目に到着。県外ナンバーの車ばかりでした。新型コロナウイルスの影響で客足は少ないという事です。

早速、ゴミ拾いを始めたのですがゴミがありません。登山者のマナーが良くなってきたからだと聞きました。しばらくして、駐車場にバイクで来ていた人たちが休憩で何かを食べていたので「ゴミはありませんか。良かったらもらいます。」と声をかけをしたところ「大丈夫です。」と言うのです。自分たちでゴミをまとめて持ち帰ったのです。一人一人の心がけで富士山にゴミが見当たらなかったのです。

このような状況に、婦人会活動として参加し、とても気持ちの良い清掃活動が出来ました。多くの人が世界文化遺産の富士山に来て下さることを祈っています。



関東ブロック大会

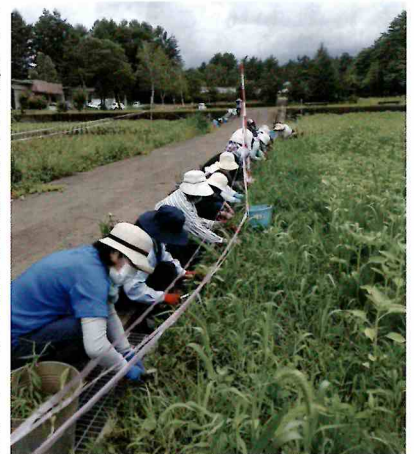
青天の十一月二十日、茨城県つくば国際会議場にて、全国地域婦人団体連絡協議会関東ブロック会議が開催され、富士吉田地区から十二名が参加しました。「人生二〇〇年時代を迎え、健康寿命を延ばし、いかに楽しく生きるには！」をテーマに講演を聞きました。

茨城県警の「オレオレ詐欺について」では「私は大丈夫」と油断しない「自宅の電話を工夫する」「一旦、電話を切って必ず誰かに相談する」が詐欺防止のポイントだそうです。中島孝新潟病院長の「HAL®医療用下肢タイプによる運動機能の再生」では、装着型サイボーグHAL®を試着体験して、意志に従った動作を補助する力を感じました。このHAL®をリハビリなどに活用して機能回復をした実例をいくつも紹介され、これからを健康体で私達が生活していくのも夢ではなくなったことを確信しました。

恩賜林 草取り

八月三日(火)、市連合婦人会活動による恩賜林組合ひまわり畑の草取りを行いました。当日は、恩賜林組合の職員の誘導に従いながら、ひまわり畑の草取りを午前中部、午後の部を合わせ会員四十名で行いました。

コロナが蔓延する中、全員がマスクを着



け、つばみにまで成長したひまわりを見ながら、汗を何回も拭いたり休憩を挟んだりして、広い畑の草取りに精を出し、作業が終わった時には、満開のひまわりの花が風に揺れて咲き誇ることを想い、さわやかな気持ちになりました。

みなさん、暑い中花と花との間が狭く草が取りにくいにも拘わらず、一生懸命作業に当たっていただき、ありがとうございました。お疲れ様でした。

ふる里史跡めぐり みんなの里

山梨県連合婦人は、昭和二十六年に地域の再生と女性の地位向上、社会進出を目指して結成され住み良い社会の実現の為に地域に根差した活動に取り組んでいます。

その活動の財産というべきもので「ふる里やまなしの民話」という民話集があります。婦人移動講話でその中の民話にまつわる地域を訪ねながらその地域の人々の生活や歴史を学ぶ目的です。

今年度は、北杜市方面のふる里やまなし

の民話に載っている「がんまくさん」の小淵沢の北野天神社、能舞台のある身曾岐神社、武田信玄が作った三分一湧水、須玉にある「味噌なめ地蔵」の正覚寺などを見学

してきました。

この地域の人々の生活や歴史を学ぶ機会としてコロナ過ではありますが感染拡大に配慮して行ってきました。

令和三年度 役員紹介



市連役員



下吉田役員



上吉田役員



下吉田役員



大明見役員

編集後記

昨春の定期総会、幹部研修会・書面表決書におきましては「全員賛成」

をいただきましたことをご報告させていただきます。

来年度は例年通り多くの行事開催ができ、次回は賑やかな紙面になることを願っています。

